

令和6年能登半島地震 災害対策ニュース

石川県で最大震度7

1月1日午後4時10分、石川県能登地方を震源とする地震が発生しました。

震源の深さはおよそ16キロ、地震の規模を示すマグニチュードは7.6(推定)、石川県志賀町で最大震度7を観測したほか、七尾市や輪島市、珠洲市等では震度6強、また新潟県、富山県内など広い範囲で激しい揺れに見舞われました。

また今回の地震では津波による警報

も出され、停電・断水が今も続き、3万人以上が避難所に身を寄せています。

消防庁災害対策本部の情報(1月4日14時30分現在)では、下記の被害状況が発表されていますが、その全容は未だ把握されておらず、各種メディアでは連日甚大な被害が報じられています。

全建総連では、被災地の動きを災害対策ニュースとしてお伝えします。

地震により被害に遭われた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

■ 人的被害・住家被害の状況(消防庁)

1月4日14時30分現在

都道府県	人的被害							住家被害					
	死者 人	うち 災害関連死者 人	行方 不明者 人	負傷者			合計 人	全壊 棟	半壊 棟	床上 浸水 棟	床下 浸水 棟	一部 破損 棟	合計 棟
				重傷 人	軽傷 人	小計 人							
新潟県				1	25	26	26	1	10			409	420
富山県				3	34	37	37	2				8	10
石川県	78		6	25	160	185	269	173	20	6	5	29	233
福井県					6	6	6					45	45
岐阜県					1	1	1						
大阪府					3	3	3						
兵庫県					2	2	2						
合計	78		6	29	231	260	344	176	30	6	5	491	708

■ 石川県庁ホームページ

1月4日10時00分現在

市町名	人的被害(人)					住家被害(棟)						非住家被害(棟)		
	死者	行方 不明者	負傷者		小計	全壊	半壊	一部 破損	床上 浸水	床下 浸水	小計	公共 建物	その他	
			重傷	軽傷										
金沢市				9	9	4					4	4	1	2
七尾市	5			3	8	12	9				12	9		
小松市				1	1									
輪島市	4	4	確認中	9	4	2	9	多数	多数	多数	多数			
珠洲市	2	3		1	4	5	1	6	8		1	6	8	
加賀市												2	8	1
羽咋市	1			1	2	1	5				1	5		
白山市				1	1									
野々市市				1	1							1		1
川北町								1			1			1
志賀町	1			2	5	3	5	6	6	5	5	0		2
宝達志水町							1				1			
中能登町				1	1	1	6	5	1	2	3			
穴水町	2	6		5	2	3	3	6	1	7	1			
能登町	2			9	2	5	3	6	多数	多数	多数			
計	7	8	6	3	3	0	4	1	4	1	4	2	9	4

石川県連が災害対策会議を開催

1月4日午前9時30分から、一般社団法人石川県建築組合連合会（以下、石川県連）は組合本部会館（建設センター）で緊急災害対策会議を開催。松本会長ら県連役員11人が出席しました。

会議には全建総連から小倉書記次長と高橋住宅対策部長、須沢主任書記が同席しました。

対策会議では、①被害状況、②全建総連に求めることを確認するとともに、全建総連から③全木協による木造応急仮設住宅建設について、④応急修理についての説明を行い、情報共有を図りました。会議の内容は以下のとおりです。

①組合の被害状況の確認

石川県連における単組は全部で49あるが、そのうち今回の地震による被害が大きい能登半島の単組は20ほどあり、会員の合計は300人弱。

能登半島の単組事務所の多くが組合長の個人宅であり、現在、ほとんど連絡が取れない状況となっており、組合員の被害がどれだけあるかは把握できていない。この会議終了後、役員が分担し、携帯電話に電話をかけ、まずは状況把握することを確認しました。



松本会長が被害状況を確認

■参加役員の家・家族・親戚の状況

- ・親戚と電話がいまだに繋がらない
- ・助けに行きたくても交通規制で近づけない
- ・食料、水が足りていない
スーパーなどが機能していない

■参加役員への顧客からの連絡

- ・瓦屋根の棟がズレてしまったので直したい。埼玉から来たという業者から20万円かかると言われたが怖いので見てほしい。
- ・ブルーシート張りをしてほしい
- ・灯籠や墓石が倒れてしまった

②全建総連に求めること

ブルーシートが必要との声が多い。
→会議の中で、全建総連からブルーシート400枚等を1月9日着で石川県連に送ることを約束しました。

③応急仮設住宅④応急修理への対応

明日の午前に行う石川県庁との話合いの状況にもよるが、積極的に取り組むことを確認しました。



全建総連から応急仮設住宅の仕組み等を説明



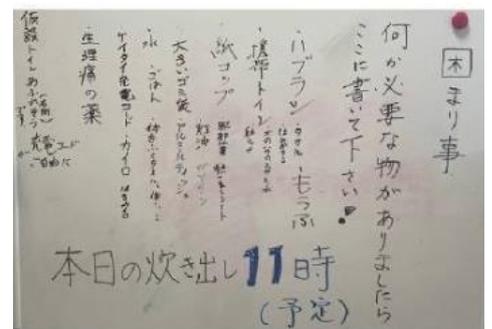
親戚や友人等の被害状況を報告しあう県連役員

能登町鵜川地区の様子
金沢市建築組合・安田幹事長提供(下)
友人から送られてきた写真



能登町の鵜川小学校内の様子です。
断水して水が不足しています。
どうかご支援をお願いいたします！
#能登半島大地震 #拡散希望RT

能登町の鵜川小学校は2Lペットボトルあと1本しかありません！
至急📢どうかご支援をよろしくお願い致します！
#能登半島地震 #拡散RT希望 #助けて #SOS





石川県連・組合本部会館（建設センター）も液状化とひび割れの被害

1月4日午後からは、石川県連・松本会長と全建総連・高橋住宅対策部長は金沢市内の被害状況を確認しました。

金沢駅前から車で20分ほどの金沢市角間町の金沢大学付近では住宅と基礎がはがれ、住宅がひっくり返っている様子を確認しました。（写真下）



昨日から今朝にかけて大雨となったこともあり、あちこちでブルーシートを張った住宅がありました。瓦の棟がズレたり、瓦が落ち、雨漏れすることが懸念されます。（写真上）

富山県連が災害対応等を協議

1月4日午後1時から一般社団法人富山県建築組合連合会（富山県連）は、災害対策会議を開催。根塚会長、副会長、理事など7人が出席しました。

小倉書記次長が午前中に開催した石川県連の災害対策会議の状況を報告すると共に、富山県内の被害状況のヒアリングを行いました。また、石川県で応急仮設住宅を建設する際は、全力で大工の労働者供給に取り組むことを確認しました。

